

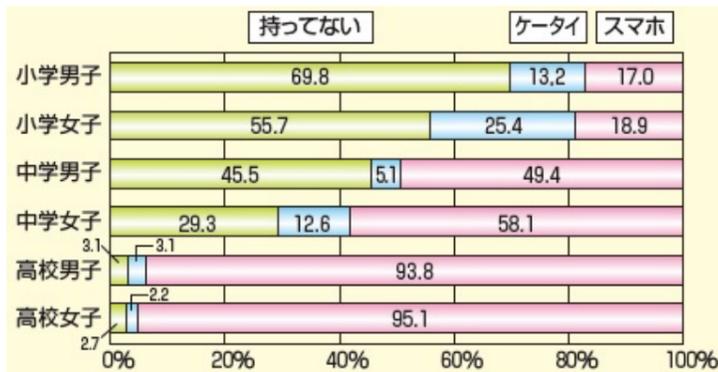
9 ケータイ・スマホの使用とわが家のルール

下記の「滋賀県校種別 携帯電話所持率」によると、小学6年男子で約3分の1、小学6年女子では約半数の児童がケータイ・スマホを所持しています。

ケータイ・スマホを使用することは、生活の中で便利な反面、長時間使用により、学習時間の減少による学力低下や睡眠不足による集中力の低下につながるおそれもあり、成長期にある子どもたちに大きな影響を与えています。



①滋賀県校種別 携帯電話所持率



ケータイ・スマホアンケート調査

●平成26年度、県教育委員会と県PTA連絡協議会が連携して、「子どものインターネット利用実態調査」に取り組みました。小学生、中学生、高校生25名による実行委員会では、話し合いの結果をもとに、昨年10月に、小学生から高校生まで2,505名にアンケートを実施しました。その結果から見てきたのは・・・

1 みなさんのご家庭では、ケータイやスマホをお子さんに持たせていますか？それともこれから持たせようと考えていますか？または持たせない考えですか？あなたの考えはどうか？

私の考えは・・・

2 ケータイ・スマホの使用について、親としてどのようなことに気をつけたらいいと考えますか？

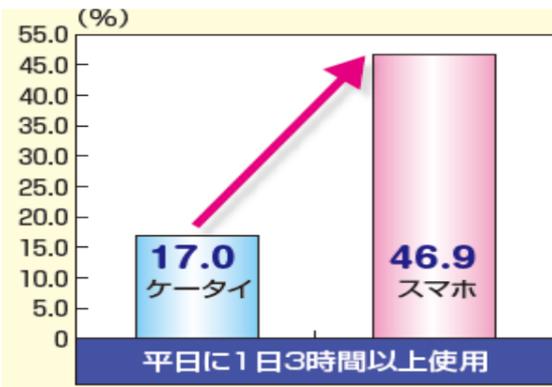
3 子どもがケータイ・スマホを利用するにあたり、わが家のルールを考えてみましょう。

第1条

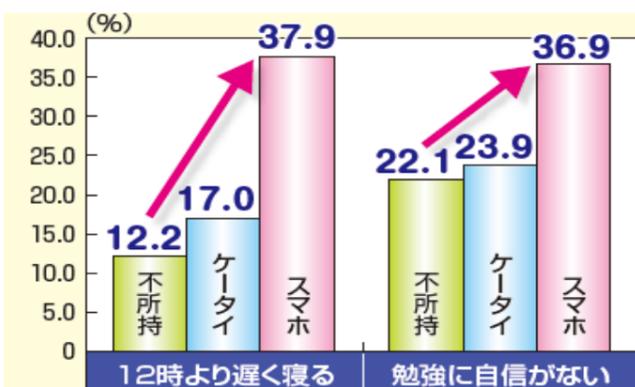
第2条

第3条

②平日の携帯電話の使用時間



③就寝時間と勉強に対する自信



【こんな事例があります】

小学校5年生（男子）のA君は、オンラインゲームにはまっています。夜中でも親にかくれてこっそりゲームで遊んでいます。ゲームに参加しないと、仲間外れにされるのではないかと心配で、途中でやめられなくなっています。A君は、睡眠不足が続いているため、勉強する気がなくなってしまい学校の授業に集中できなくなっています。

「ちょっと待って！ケータイ&スマホ」(文部科学省)より

POINT

ケータイ・スマホは学年が進むにつれて、子どもたちの所持率は高くなり、日常生活に深く浸透している状況にあります。まずは、子どもにケータイ・スマホが本当に必要かどうかをよく考えてみましょう。また、その使用にあたっては、子どもに任せきりにするのではなく、適切なルールを親子で話し合いつくるなど、過度な使用を控える取組を進め、子どもの基本的な生活習慣を確立していくことが大切です。同時に、親同士も交流し、保護者のつながりのなかで、子どもたちを温かく見守りましょう。